



学校だより

学校の教育目標

- ・思いやりがあり、心の豊かな人になろう
- ・自ら学び、考え、表現できる人になろう
- ・心身ともに進んで鍛え、健康な人になろう

第9号

令和6年1月25日

杉並区立阿佐ヶ谷中学校

校長 齋藤 健一

「阿佐ヶ谷学区小中一貫教育合同研修会～道徳」

校長 齋藤 健一

阿佐ヶ谷中学区の3校

阿佐ヶ谷中と杉並第六小、杉並第七小の3校は、児童・生徒の通学区域をほぼ同じくする区内でも特別な学区域の小中学校です。杉並区の小中一貫・連携教育の先駆的な存在でもあり、この伝統は脈々と現在の児童・生徒、教職員にも受け継がれています。

そして、この交流は児童・生徒の交流等だけでなく、教職員の研修にも生かされています。

「地域の子どもたちの9年間の義務教育を、公立の小中学校として責任をもって育てていく。」という思いのもと、今年度は年間を通して「特別の教科 道徳」を取り上げ、3校の先生方が共に学ぶ機会をつくりました。

「特別の教科 道徳」

「特別の教科 道徳」の授業は小中学校ともに、週に1回(年間35時間)あります。主に「特別の教科 道徳」の教科書の読み物教材を題材に、自分の考えを広めたり、深めたり、他者(クラスメイト)との意見を交わし合いながら学びます。授業で学ぶ道徳的価値は、小中学校で大きく変わることはありません。大切な道徳的価値を発達段階に応じて、繰り返し9年間を通して学んでいきます。児童・生徒たちは、時に活発に発言し、時にじっと

考え込み、自分の内面と向き合ったり、新しい道徳的価値に触れたりしながら、自分自身を振り返ったり、創造したりしていきます。

3校の先生方が、「特別の教科 道徳」の授業をお互いに見せ合い、意見交換をして協議会を実施しました。(6月:阿佐ヶ谷中、11月:杉六小、1月:杉七小)

授業の「展開後段」

ただ、漠然と授業参観と協議会を実施するのではなく、今年度は授業ごとの流れを意識して、研修を深めることにしました。道徳の授業をはじめ、一単位時間の授業の流れは、「導入、展開、終末」の流れが基本です。その中で、「展開の後段」場面で、どのような発問をして児童・生徒の考えや発言を引き出したり、クラスで共有したりすることができるのか研修し、学びました。

地域の子どもを育てる

2校の小学校と阿佐ヶ谷中学校の先生方が、目の前の児童・生徒たちの各教科の学習や学校行事などの特別活動、そして特別の教科 道徳などのことについて、それぞれの思いや考え、指導や支援の在り方について意見交換、共通理解し、これからも阿佐ヶ谷中学区の子どもたちを、保護者・地域と育てていきます。

教育活動報告

12月16日(土)に道徳授業地区公開講座を実施しました。そのあとの講演会では、阿佐ヶ谷に縁の深いラズウェル細木さんから「いのち×JAZZ×阿佐ヶ谷」をテーマにお話いただきました。



1月12日(金)の5・6校時にカンボジア・タイ・シリア・エチオピアの方をお招きし、国際理解教室を実施しました。講師の方々から語られる文化の違いに、生徒は驚きの表情を盛んに見せていました。



1月17日(水)から19日(金)に、2年生が移動教室として菅平高原スキー場へ出かけました。「Turn and Jump〜スキーで雪を好きになろう〜」をスローガンに、スキー実習を通して心身を鍛えました。自分たちで話し合っ
て決めたルールを守り、安全・安心の宿泊行事とすることができました。



2月の予定

月日	曜日	給食	行事予定
1	木	○	学校保健委員会PM
2	金	○	都立推薦入試発表・手続き
3	土		
4	日		
5	月	○	全校朝礼 安全指導 各種委員会 ⑥カット
6	火	○	都立一次・分割前期出願書類受付期間終了
7	水	○	杉教研一斉研究会 ⑤カット
8	木	○	連合スキー移動教室事前検診(G)
9	金	○	
10	土		
11	日		建国記念の日
12	月		振替休日 連合スキー移動教室(G)始
13	火	○	都立一次・分割前期入学願書取下げ
14	水	○	都立一次・分割前期入学願書再提出 学年会 連合スキー移動教室(G)終
15	木	○	振替休業日(G)
16	金	○	
17	土	×	土曜授業 新入生保護者説明会
18	日		
19	月	○	生徒会朝礼 理科出前授業(1) 補充週間始 放課後勉強会始
20	火	○	
21	水	○	都立高一次検査 放課後勉強会終 補充週間終
22	木	○	避難訓練
23	金		天皇誕生日
24	土		
25	日		
26	月	×	学年末考查始
27	火	×	
28	水	○	学年末考查終 ⑤文化発表会展示部門前日準備
29	木	○	学校公開始 文化発表会展示部門始